

世界初となるドイツ連邦共和国での次世代型地熱発電・ 地域熱供給案件へのプロジェクトファイナンス組成について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、ドイツ連邦共和国（以下「ドイツ」）・バイエルン州において地熱発電及び地域熱供給事業の建設・保守・運転を行う「Geretsried（ゲーリッツリート）プロジェクト」（以下「本事業」）を対象とし、リードアレンジャーとしてプロジェクトファイナンスを組成し、JBIC（国際協力銀行）、European Investment Bank（欧州投資銀行）及び他の民間金融機関とともに協調融資を行います。なお、民間金融機関の融資部分には NEXI（日本貿易保険）による保険が付されます。

本事業は、Eavor Technologies Inc.（以下、Eavor）及び 中部電力株式会社（以下、中部電力）が出資する特別目的会社である Eavor Erdwärme Geretsried GmbH が開発を推進しており、地下の深さ約 4,500～5,000m にループを掘削・設置し、内部に水を循環させることで、地下熱を効率的に取り出し、地上でバイナリー発電や地域熱供給を行います。今後、2026 年頃に全面運転開始を予定しています。

また、本事業は、クローズドループ地熱利用技術である Eavor-Loop™の初の商用化プロジェクトとして欧州イノベーション基金から 9,160 万ユーロの補助金を受けることが予定されています。同基金からは、運転中に温室効果ガスの排出量が大幅に削減されることに加え、基本的に火山域外でも設置可能な革新的技術により、欧州域内における安定的な再生可能エネルギー由来の電力・熱供給に貢献することが評価されました。

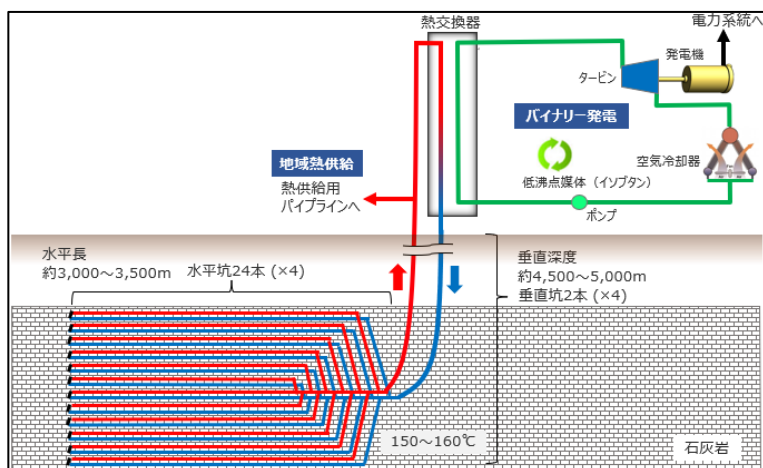
世界の地熱発電市場は、2000～2020 年までの 20 年間で発電容量が約 2 倍に増加しており、今後も導入容量は増加傾向にあります。特に、世界第 3 位の豊富な地熱資源量を有する我が国では、脱炭素化に向けた取り組みとして、更なる地熱発電の活用が重要とされています。2020 年末時点での世界の地熱発電容量は、約 15.5 GW と発展途上の段階にあり、本件は将来の市場成長に貢献するものです。

みずほ銀行は、これまでに培った豊富な電力事業への知見とプロジェクトファイナンスの実績を活かし、今後も国内外における再生可能エネルギーの発展と技術革新を支援し、気候変動への対応促進と脱炭素社会への移行支援に貢献していきます。

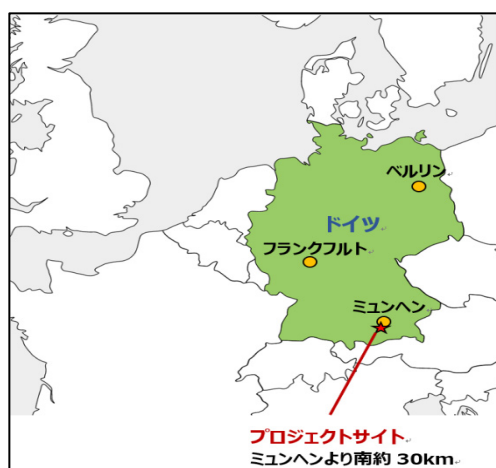
＜本案件概要＞

事業名	Geretsried Geothermal Project ゲーリッツリート地熱発電プロジェクト
事業者	Eavor Erdwärme Geretsried GmbH (Eavor 及び中部電力が出資する特別目的会社)
事業内容	ドイツ・バイエルン州における地熱発電事業の建設・保守・運転及び地域熱の供給
リードアレンジャー/ 貸付人	みずほ銀行、JBIC、EIB、ING Bank
契約締結日	2024 年 4 月 26 日

＜設備構成図＞



＜プロジェクト所在地＞



＜完成予定図＞



(出典：2024/4/30 付中部電力プレスリリース)

以 上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO